

52 巻 (2019 年)

3 号 (5-6 月号)

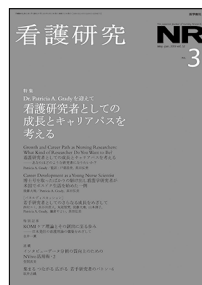
Dr. Patricia A. Grady を迎えて

看護研究者としての成長とキャリアパスを考える

Growth and Career Path as Nursing Researchers: What Kind of Researcher Do You Want to Be? Patricia A. Grady, (監訳) 戸部浩美, 真田弘美 / Career Development as a Young Nurse Scientist 後藤大地, 〈コメンテーター〉Patricia A. Grady, 真田弘美 / [パネルディスカッション] 若手研究者としてのさらなる成長をめざして 西村ユミ, 長谷川直人, 丸尾智実, 後藤大地, 山本則子, Patricia A. Grady, 鎌倉やよい, 真田弘美

特別記事 ● KOMI ケア理論とその創出に至る歩み 金井一薫

連載 ● インタビューデータ分析の質向上のための NVivo 活用術・2 萱間真美 / 集まるつながる 広がる 若手研究者のバトン・6 坂井志織



2 号 (3-4 月号)

よい質的研究論文を発表するために

セミナー「How to Peer Review and Publish Qualitative Papers」より

研究者, 査読者, 編集委員, 編集委員長のためのセミナー開催の意図 萱間真美 / Peer Review of Qualitative Research Christine A. Tanner / 質的研究のピアレビューの方法をどのように開発したらよいのか Ian Shaw (編集 木下康仁) / 質的研究論文の査読基準作成と評価類型・改善方向の試案 木下康仁 / セミナーにおける質疑応答 Christine A. Tanner, Ian Shaw, 木下康仁, 萱間真美

特別記事 ● ハゲタカジャーナルに気をつけろ!? 西垣昌和 / PICU に子どもが入室した両親の担った役割 第 4 報 子どもの頑張りを支える 戈木クレイグヒル滋子ほか

新連載 ● インタビューデータ分析の質向上のための NVivo 活用術・1 萱間真美



1 号 (1-2 月号) 英文論文と査読

田中久仁美 / William L. Holzemer / 石原逸子 / 野垣宏ほか

51 巻 (2018 年)

7 号 (11-12 月号) アジアの大学を知る 日本の看護研究力を高める

真田弘美 / 上別府圭子 / 山本則子 / 武村雪絵 / 春名めぐみ / 仲上豪二郎 / 玉井奈緒 / 五十嵐歩 / 成瀬昂 / 北村言 / 大江真琴 / Claudia K.Y. Lai